



We are 鶉っ子!

福井市鶉小学校
令和7年12月2日
第9号 文責：校長

学 校 教 育 目 標 豊かな心を持ち たくましく生きる児童の育成
校訓(めざす児童像) 強い子 よい子 鶉の子

ある情報雑誌の中で、「大人になるまでにもっとも必要な教科は何か?」という質問に対して、大人(教員ではありません)と子ども(中学生)数人が、対話形式でディスカッションを行った様子が掲載されていました。様々な意見が飛び交う中で、最終的に一番必要だとされた教科は何だと思いますか。

それは「**家庭科**」でした。私はてっきりいわゆる受験系の教科(数学や国語など)だろうと思いましたが、そうでなく家庭科となった理由に興味を持ちました。理由はシンプルで、「自炊ができるようになることが大事だから」でした。自炊ができないと人生で3重のハードモードになると書かれていました。

①お金がどんどん消えていく。毎日外食であれば、一人暮らしでも年間50万円、家族が居れば100万円以上余分にかかる ②不健康になる。外食で、必要な栄養素をすべて取ることは難しい。結果、体調不良になれば、ますますお金が稼げない ③自炊ができない人は、自分の子にも自炊を教えられないからそれが代々続いていく。

もちろん必ずしもその通りとは思いませんが、あながち間違っていないとも思いました。こういった視点で考えるかによって答えは違ってきますが、健康もお金も生きるために必要です。なるほどと感心しました。

福井県は「食育」発祥の地です。人の体は食べたものから作られます。自分で自分の食べる食事を作ることができるとは、すごく幸せなことだと思います。ちなみに私も家庭では食事を担当することがありますが、レパートリーが少ないので増やしたいと考えているところです。

あとしばらくで、冬休みを迎えます。1年のまとめとして、復習教材やドリルなど頑張る人はすばらしいと思います。自分のためには是非頑張してほしいと思います。しかし、勉強は机上ですることだけでは面白くないです。家庭科を学習している5、6年生はもちろん、4年生以下の人も、自分でできる範囲で料理作りにチャレンジしたり、家の人の料理作りに協力したりできるといいですね。そのような活動も、立派な「冬休みの学習」です。



2 学期委員会が始まって

本校の委員会活動は、4・5・6年生が行っており、1年間を通じて同じメンバーですが、2学期からは副委員長が5年生に替わります。1学期の活動の様子を見ると、4・5年生は指示を出されて活動する場面が多かったですが、2学期からは、今までの経験を生かして積極的に活動をしてほしいと思っています。特に、新しく副委員長になった5年生は、6年生に遠慮せずにリーダーシップを発揮してほしいです。6年生は、来年鶉小学校の中心となっていく後輩のために、手本となる行動で、3月まで鶉小学校を引っ張って行ってほしいです。

お昼の校内放送で、委員会紹介がありましたが、新委員長・副委員長は、堂々と委員会からのお知らせを発表していました。期待しています!



鶉っ子チャレンジラン 11月5日(水)

昨年までは、学年で決められた距離でのマラソン大会でしたが、今年は、「自分で選んだ距離にチャレンジする」ことができるマラソンに変えました。マラソンが

好きな児童、嫌いな児童、得意な児童、不得意な児童は様々ですが、自分がチャレンジしたい距離を自己選択し、自分が決めたことに向き合うことで、自分なりの充実感を得させたいという思いから、「鶉っ子チャレンジラン」にリニューアルしました。

低・中・高学年ごとに行いましたが、どの学年の児童も、家の方の声援に後押しされながら、一生懸命チャレンジする姿が見られ、つい胸が熱くなりました。児童の感想を読むと、「精一杯走れたので良かった」「目標の順位に入れなかったのが悔しかった」といった結果に対する振り返りとともに、「長い方にチャレンジできて良かった」「来年は長い距離に挑戦したい」というような、自己決定に関わる振り返りも見られました。自己選択・自己決定することは、児童の成長にとって大きな影響を与えます。大人からのアドバイスは多くの児童にとって必要なことですが、最終的な自己決定を保証することは、それ以上に重要なことと考えています。



NIE 公開授業 11月28日(金)

今年度は、新聞を活用した NIE 教育に取り組んでいるところですが、5年生が NIE 公開授業を行いました。宮ノ下地区のコスモスまつりを盛り上げるアイデアを考え、説得力のある意見文を作る授業です。5年生は、自分たちが種蒔きから関わってきたコスモスに関する事なので、一生懸命に取り組んでいました。新聞記事から他の地域のまつりで行われているアイデアを参考にしたり、ゲストティーチャーで呼び出した公民館主事さんから話を聞いたりしながら、自分の意見の根拠を明らかにしていきました。最終的には、児童の考えたアイデアを、公民館を訪れた人に見ていただきたいと考えています。

鶉地区、宮ノ下地区には様々な地域資源があります。自分たちの地域を大切にしながら、さらに魅力的な地域にしていくための取組をこれからも考えていきたいと思います。



学習の様子から



びわ湖ホール音楽アンサンブル公演で、本格的なオペラを全校で楽しみました。



5・6年体育の出前授業を2日連続で行いました。マット運動とハンドボールです。



3年生の校外学習で、かまぼこづくりをしました。「とてもおいしかった！」そうです。



2年生の町探検です。2日目は、ボランティア先生にも大変お世話になりました。

～鶉小学校PTAより～

PTA 講演会にご参加いただきありがとうございました。大人が考えている以上に、子どもたちを取り巻くネット環境には危険性があることが理解できたのではないのでしょうか。保護者の責務として、家庭でのルール作りなどを通し、ネットゲームや SNS への向き合わせ方を考えていきたいと思います。

2025 お世話になりました



鶉小学校の HP

<https://www.fukui-city.ed.jp/uzura-e/>

ご意見ください

<E-mail: uzura-e@fukui-city.ed.jp>

